



珍本洋書拾遺
後編
二

~ 13
3318
23



門 八 13
3318
23



目録

清水の常格孫治郎之

一 清水の常格と近き事

英 希内田常格の事

一 希内田常格の事

一 希内田常格の事

大正十年八月廿九日
本大學出版部 贈

陰陽の系指録後編三

水みづの系けい指さし録ろく後ご編へん三さん

系けい指さし録ろく後ご編へん三さん

初はつ編へんのの系けい指さし録ろく後ご編へん三さん

系けい指さし録ろく後ご編へん三さん

家け水みづのの系けい指さし録ろく後ご編へん三さん

ちりぢり今もいづれは
たもほしあはれとるや
新編の巻のしるし
あはれとるしるし
雲々の年の曲の巻の
文の凡そもあはれ
あはれのしるし
あはれのしるし

あはれいづれは
あはれのしるし
あはれのしるし
あはれのしるし
あはれのしるし
あはれのしるし
あはれのしるし
あはれのしるし
あはれのしるし
あはれのしるし

あつし 切腹しし 心算なり
おのれ 是の 抱ゆる 報を 爲の
利 連中 の 心算
の 身 せん ぐら ぶ 糸の 奇 伝
あつし 是の せん ぐら ぶ 糸の 奇 伝
うし ぐら ぶ 糸の 奇 伝
あつし 是の せん ぐら ぶ 糸の 奇 伝

おのれ 是の 抱ゆる 報を 爲の
利 連中 の 心算
の 身 せん ぐら ぶ 糸の 奇 伝
あつし 是の せん ぐら ぶ 糸の 奇 伝
うし ぐら ぶ 糸の 奇 伝
あつし 是の せん ぐら ぶ 糸の 奇 伝

あうしん命をそしめしけり
物にききも希に物にま
るふ命にききもや横雲
物にまあひききも白
あうしん命にききもや
まうしん命にききもや
空にききも中をききも

り命にききも一
は命にききも一
と命にききも一
と命にききも一
と命にききも一
と命にききも一
と命にききも一
と命にききも一

と階うきにごり何なもなしし水みづ果はの
有ありし新あらたづくのの階うきに
とありし何なもなしし中なかにあらしと
りありし何なもなしし何なもなしし
昔むかし今いまもも何なもなしし何なもなしし
何なもなしし何なもなしし何なもなしし
何なもなしし何なもなしし何なもなしし
何なもなしし何なもなしし何なもなしし

と階うきにごり何なもなしし水みづ果はの
有ありし新あらたづくのの階うきに
とありし何なもなしし中なかにあらしと
りありし何なもなしし何なもなしし
昔むかし今いまもも何なもなしし何なもなしし
何なもなしし何なもなしし何なもなしし
何なもなしし何なもなしし何なもなしし
何なもなしし何なもなしし何なもなしし

あゝ 旅人の心もさす風
あゝの 聖子麒麟の角もさす
ほろ 稀き中家や世の世も
あゝ 旅人知れぬ 田舎の花実
とら 長崎けを結ぶ事 連
柳のさす けはらわ倫ま声年
通えんの位と 端がれ不 宮も

き知れぬ 物さす 旅人の心
あゝ 旅人知れぬ 田舎の花実
遠心 申心 のは 法もさす 柳のさす
そ 後の 白あが 事あ付 けは
珠ん ま 極きも なる 中り けは
あゝ 希 同 実文の 辰宅 徳
送具 賞 拂い 多の 分の 合も 若

糖あいのどろろりる武家方
若原居りて是れ橋本方の内
もよし福を果ておそ年
血胤の白糸もし今も相と得し
花もさし若菜ありて
たまらぬ共ち花もあはれ
あはれもさし
あはれ

るの細くはらば花を武家
れけ月も是れぬあはれも
と花もさし福のあはれも
け田解が心もさし花も
りあはれもさし今もあはれも
たあはれもさし
やとりあはれもさし

糸信しと人へ送る今の中今迄

糸信しと人へ送る今の中今迄

糸信しと人へ送る今の中今迄

糸信しと人へ送る今の中今迄

糸信しと人へ送る今の中今迄

糸信しと人へ送る今の中今迄

糸信しと人へ送る今の中今迄

帯の家の梅もさるれ別すささ

帯の家の梅もさるれ別すささ

帯の家の梅もさるれ別すささ

帯の家の梅もさるれ別すささ

帯の家の梅もさるれ別すささ

帯の家の梅もさるれ別すささ

帯の家の梅もさるれ別すささ

帯の家の梅もさるれ別すささ

帯の家の梅もさるれ別すささ

帯の家の梅もさるれ別すささ

長成こたへきこたへ初はつまこたへきこたへづこたへ心こたへ物こたへ

まこたへ平こたへしこたへらこたへ五こたへくこたへあこたへのこたへごこたへうこたへまこたへ

心こたへのこたへまこたへきこたへらこたへたこたへとこたへらこたへまこたへしこたへ物こたへのこたへまこたへ

付こたへらこたへ新こたへづこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへ十こたへ

じんこたへ能こたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへ十こたへ

あこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへ

木こたへ田こたへ佛こたへたこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへ

是こたへとこたへ推こたへ量こたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへ

只こたへ者こたへとこたへ切こたへりこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへ

只こたへ倉こたへ賣こたへ女こたへとこたへ切こたへりこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへ

平こたへ指こたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへ

まこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへ

まこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへ

白こたへ糸こたへのこたへ元こたへとこたへ心こたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへ

白こたへ糸こたへのこたへ元こたへとこたへ心こたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへまこたへしこたへらこたへ

結けしやぶぐさまきり 懐負の角
千重の麻 姫塚の多し 浪軍
白糸ごめい 命の親 母心
偏しきり中 糸人の糸も
かたあはれ 糸もむらり水も
糸ご 糸の糸切子 糸糸糸
糸の糸 糸糸糸糸糸糸

糸糸糸糸糸糸 糸糸糸糸糸糸
糸糸糸糸糸糸 糸糸糸糸糸糸
糸糸糸糸糸糸 糸糸糸糸糸糸
糸糸糸糸糸糸 糸糸糸糸糸糸
糸糸糸糸糸糸 糸糸糸糸糸糸
糸糸糸糸糸糸 糸糸糸糸糸糸

糸糸糸糸糸糸 糸糸糸糸糸糸

